

【寄居町】
校務 DX 計画

1. これまでの取り組み

本町では、平成23年度より統合型校務支援システムを導入しており、学校－学校間、町教育委員会－学校間の連絡がメールでできる仕組みとなっているほか、教職員全員にメールアカウントを付与しております。また、保護者連絡システムを導入し、コミュニケーションの迅速化を図っています。また、学校におけるグループウェア機能、教務系、学籍系、保健系などの情報を一元管理及び共有しています。令和5年度には、新たに「欠席連絡」や「自動採点システム」、ログインに多要素認証（端末認証・顔認証）を導入し、校務における業務負担の軽減とセキュリティ対策を図っています。

2. ネットワーク環境

現在、町の教育ネットワークを児童生徒の個人情報を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離し、インターネット経由等から児童生徒の個人情報等にアクセスできない環境となっています。このうち、校務系については、教職員のみがインターネット環境に接続できる環境を構築しています。

令和10年度の更新に向けてアクセス制限によるセキュリティ対策を十分に確保しながら、現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討をしていきます。

3. 校務のデジタル化

保護者からの欠席連絡は保護者連絡システムの活用を継続し、迅速化を図ります。また、学校からの連絡は、保護者連絡システムからの発出を推進します。

緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、FAXのほうが電子メールより効率的な場合などを除き、FAX及び押印の原則廃止に向けて、検討を行います。